

丹波篠山市立篠山東中学校『学習・生活に関する学力向上プラン』

本校では、毎年、中学1、2年生を対象に実施される丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の結果をもとに、『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しています。

以下に、今回の調査結果を分析しまとめましたので報告します。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面であることを踏まえつつ、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもと、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めてまいります。今後も引き続き、本校の教育活動に対してご支援いただければ幸いです。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要**○国語科では、**

全体の平均正答率は全国値と同程度でした。また「基礎力」「活用力」とともに全国値と同程度であったものの、「活用力」にはやや課題が見られました。領域別では、「情報の扱い方に関する事項」「言葉の特徴や使い方に関する事項」が全国値よりも高く、反面、「書くこと」「我が国の言語文化に関する事項」は全国値よりも低く、課題がみられました。

○数学科では、

領域別では、「数と式」「図形」「関数」は全国値よりも高く、「データの活用」のみ全国値よりも低い状況でした。問題別では、数や文字の計算、方程式、空間図形などの問題は全国値よりも高く、良好な状況でした。反面、度数分布表と相対度数、データの範囲と中央値などの問題に課題がみられました。

○学習習慣・生活習慣等についての意識調査からは、

「学級の規範意識」「対話・話し合い」「発信力」「思いやり」など多くの項目で課題がみられました。対人関係、人との関わりで培われる力が弱い傾向にあります。全国値と同程度の項目は、「生活習慣」と「社会参画」でした。

現在の課題および今後の学力向上方策**○国語科**

課題①「書くこと」→ 継続し行っている「ミニ作文」という取組の様子からは、「作文ぎらい」は感じられません。「じっくり考える」「粘り強く取り組む（書ききる）」力の向上に向けて、【自分の考えや意見を、まずはしっかりと文章でまとめる（書く）】ことを大切に授業をこれまで以上に行っていきます。

課題②「我が国の言語文化に関する事項」→ 特に古文の学習においては、これまで以上に音読を多用し「慣れ親しむ」ことを大切にして、生徒の興味関心をひく話題や教材の工夫を行います。

○数学科

「データの活用」の領域については、度数分布表やヒストグラムからデータを読み取るだけでなく、複数の表やデータを比較・説明したり、批判的に思考したりする場面を取り入れることで、数学的思考力の向上を図ります。また、2年生の3学期に学習する※箱ひげ図においても同様に取り組みます。※箱ひげ図とは、データの「散らばり具合」や「偏り」をひと目で分かるようにまとめたグラフのこと。

○『学習習慣・生活習慣等についての意識調査』

規範意識の低さがみられます。ルールや時間を守ることが自分たちの生活や集団を守ることと認識できるように取り組んでいきます。また、他人を思いやるといったところにも課題がみられます。学級活動や体験活動、外部の方々との交流を通して、他者とのつながりで日々の生活が成り立っていることを学ぶ機会を設けたいと考えています。

【保護者へのお知らせとお願い】

本校では、今回の調査結果を踏まえ、お子様一人ひとりの学習のあり方や生活習慣についての指導方法を検証し、授業改善に取り組んでまいります。各ご家庭におかれましても、お子様の家庭学習のあり方や生活習慣について今一度ご確認いただき、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、子どもたちの持てる力をさらに伸ばしていくためには、何より周りの支えが必要です。個々の成長、そして個を育むより良い集団をつくるためにも、学校と家庭・地域とが連携協力し、子どもたちを支えていけますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【比較について】

- ・ 本校の正答率が全国値に対して＋5ポイント以上 【高い】と表現
- ・ 本校の正答率が全国値に対して差がない（±5ポイント以内） 【同程度】と表現
- ・ 本校の正答率が全国値に対して－5ポイント未満 【低い】と表現